



みさき

27号

美咲町議会だより



主な内容

まちづくりと教育の取り組み

議会行政視察の報告 ————— ⑥～⑦

行政課題をどう解決するのか

議員14人が一般質問 ————— ⑧～⑪

一般質問を傍聴して

町民から議会に向けた意見 ————— ⑫

新たな門出を祝う成人の日、^{あで}艶やかな晴れ着姿が^{まぶ}眩しく映る。(柵原総合文化センター) 2012年2月10日発行

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

議会基本条例制定で 議会改革の推進を

議長あいさつ



三船勝之 議長

平成24年の初春を迎え議会を代表してごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には行政推進と議会活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災、原子力発電所の事故という国難とも言われる大きな災害に見舞われました。

その節には救済物資、義援金などの支援活動にご協力いただきまして深く感謝いたします。一日も早い原発事故の収束と復旧・復興を願うものであります。

年頭所感

政府においては、昨年12月に24年度一般会計予算九十兆三千億円を閣議決定しましたが、税収より借金の方が多いう算であり、今後の財源確保、消費税と社会保障の一体改革については先行き不透明な状況となっております。

本町の財源は国からの交付税が予算の半分を占めています。交付税の現状維持を願うものでありますが、今後とも国の動きを注視していかなければなりません。多くの自治体が直面する行政課題は、少子化対策、高齢化対策、農林業・商工業の活性化であり本町も例外ではありません。

少子化対策には 結婚の推進を

先進諸国では少子化による危機感を共有している状況があります



議会改革に向けて町民の皆さんとの公聴会

高齢化社会対策に 福祉の充実

また、平均寿命の伸長による高齢化社会に対応すべき医療、年金、介護などの充実を含めて、

生きがい対策、一人暮らし老人対策、認知症対策への取り組みが重要となりますが、まだまだ十分とは言えません。

産業振興に向けた 担い手の育成

そして本町の伝統的な基幹産業である農業、林業、商工業の活性化に向けた担い手不足の解消にも力を注が

なければなりません。これらの行政課題への取り組みが急務であります。

議会活性化へ 議会基本条例の 制定

こうした課題への取り組みを強化するため、私たち議会とは昨年議会改革特別委員会を設置して協議を重ねてまいりました。

今後は、早期に議会基本条例を制定し、政策立案・議会提案などを始めとした調査、研究をし、開かれた議会・町民と一番身近な議会を目指し、議会の活性化に取り組んでまいりますので、町民皆様のご意見・ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。本年が、町民皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げます。

12月 定例会 の報告

12月9日から
12月22日まで

定例会が招集され、23年度一般会計補正予算など予算11件、条例制定9件、その他3件の議案が上程された。

条例制定など

条例の制定および改正が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎美咲町犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等に対する支援を推進するため、施策の基本となる事項を定める。

◎「みち停あさひ」の設置及び管理に関する条例

23年12月にオープンした「みち停あさひ」の管理に必要な事項を定める。

◎美咲町コミュニティセンター条例の全部

を改正する条例

指定管理者制度の導入を可能にするための条例改正を行う。

◎みさきネットの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

分担金等に関する規制および罰則についての条文を追加する。

人事案件

◎人権擁護委員の選任

人権擁護委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町打穴上

内田 一志氏

陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

国・県に私学助成を求める意見書提出に関する陳情

「民生教育委員会付託」岡山県私学助成を進める会

会長 小橋 操

私学においても既に相当な助成があることから賛成少数で不採択とした。

「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を促す意見書の提出を求める陳情

「民生教育委員会付託」

こころの健康署名岡山行動実行委員会
会長 光成卓明
毎年三万人以上の自殺者がある我が国にとって、こころの健康維持は重要であり、全会一致で採択とした。

「美咲町誌」編纂についての要望
へんさん

「民生教育委員会付託」
「美咲町誌」編纂に未来を託する会

代表 黒瀬光輝

町誌の作成で後生に歴史・文化を伝えることは大変意義があり、全会一致で採択とした。

美咲町シルバー人材センターに対する補助金増額についての支援要望

「総務委員会付託」

美咲町シルバー人材センター

会長 渋谷勝弘

高齢者による地域貢献活動は大切であるが、業務拡大による対応が

望ましいため、全会一致で趣旨採択とした。

柵原総合庁舎取り壊しに伴い発生する不要材料の再活用についての要望

「総務委員会付託」

藤原地区

地区長 岡田康則

要望の材料は相当の年数が経過しており使用には耐えられないため、全会一致で不採択とした。

町が運行しているバスの契約方法継続の要望

「総務委員会付託」

（株）エスアールティー

美咲町従業員代表

杉山正光

入札実施に向けた説明会での了解が得られている状況であり、全会一致で不採択とした。

美作材需要拡大についての要望

「産業建設委員会付託」

美作材振興協議会
会長 難波芳英
林業振興の重要性を考慮し、全会一致で採択とした。

商工会振興事業補助金予算措置の要望

「産業建設委員会付託」

久米郡商工会

会長 西本和馬

地域経済活性化の必要性を認め、全会一致で採択とした。

議員発議

「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書

現代病とも言われる精神疾患によって多くの命が失われている中において、これを予防するための法制化は重要である。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

常任委員会報告

総務

LED防犯灯 設置補助金に

300万円

付託された一般会計
補正予算などを審査し
た結果、全会一致で承
認した。

◎一般会計補正予算

歳入歳出に一億三千
六十五万円を追加し、
総額百二十一億八千五
百三十五万円とするも
の。

【主な歳入】

- ☆町税 千九百四十万円
- ☆国庫支出金 千七百九十万円減
- ☆県支出金 八千六百四十万円
- ☆諸収入 千三百七十七万円
- ☆町債 二千二百七十七万円

百基の申請があったの
か。

【答】 各地区から問い
合わせが多数あり

年度末までの予算を計
上している。

【税務課】

【問】 市町村税滞納整
理組合に滞納金の

集金を依頼しているが
成果は。負担金は。

【答】 23年度前期で八
百四十三万円の回

収実績。負担金は回収
金額の12%。

【情報交通課】

【問】 IP電話が廃止
されたあと機器の

取り外しはどうするの
か。

【答】 みさきネット管
理センターで対応

【企画財政課】

【問】 土地売り払い代
金二百七十万円の

内訳は。

【答】 原田、吉ヶ原の
宅地、藤原の雑種

地、打穴下の町有地を
売却した。



これからどんどん増えるLED照明

民生教育

美咲チャレンジ ロードレース大会に

300万円

付託された一般会計
補正予算案など6件を
審査した結果、全会一
致で承認した。

◎一般会計補正予算

【主な歳出】

★児童福祉システム変
更改修費 二百九十四万円

★子ども手当の制度改
正 四千七百五十七万円減

★保育所広域入所委託
料 六百四十万円

★美咲チャレンジロー
ドレース大会開催費 三百万円

◎特別会計補正予算

国民健康保険事業な
ど3特別会計は、給付
費の伸びなどによる増
額補正が主なもの。

■主な質疑応答

【健康増進課】

【問】 子宮頸がんの予
防ワクチンの接種

率は。 6カ月で3回接
種するので本年度

【答】 末にならないと正確に
はわからないが、ほぼ
完了していると考えて

いる。

【保健福祉課】

【問】 医療給付費は、
年々伸び、国民健

康保健事業特別会計の
基金が減り、厳しい状

況の中、来年度からの
国保税は、どうなるの

か。

【答】 本町の町民一人
当たりの医療費

は、県内で3番目に高
いが、国保税は、県内

で一番安い。基金を繰



新たなスタート 美咲町ロードレース大会

り入れても厳しい会計
となつてゐる。一般会
計からの繰り入れもし
ていくが、値上げはや
むを得ない。今後、国
保運営協議会で検討し
て協議し決定する。
【教育総務課】

問 柵原中学校のト
イレ改修費が九十
八万円計上されてい
るが、現地を見た限り大
規模改修した方が無駄
がないのではないか。
答 雨漏りなどがあ
り各階のトイレを
改修する。

【生涯学習課】
問 美咲チャレンジ
ロードレース大会
開催費三百万円の内容
は。
答 体育協会・スポ
ーツ推進委員会の
代表で協議していただ
き、実行委員会を立ち
上げた。
第一回として3月25
日にまきばの館周辺を
会場に町内在住・在勤
者を対象にしたロード
レース大会を開催する
予定。

産業建設

災害復旧事業費に
1億1300万円
計上

付託された一般会計
補正予算などを審査し
た結果、全会一致で承
認した

◎一般会計補正予算

【主な歳出】

- ★合併処理浄化槽設置補助金 四百九万円
- ★太陽光発電補助金 二百万円
- ★有害鳥獣駆除費 百五十万円
- ★土地改良事業費 千六百八十八万円
- ★県事業負担金 七百三十八万円
- ★町道改良費 千十万円
- ★農地災害復旧費 五千百一十万円
- ★農業用施設災害復旧費 千九百七十六万円

★公共土木施設災害復
旧費 四千二百十五万円

◎特別会計補正予算

◇下水道事業

★維持補修費ほか 百八十万円

◇柵原公共下水道事業

★施設整備費 二百六十万円

中央公共下水道など
4会計は軽微な組替に
よる予算が主なもの。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問 津山広域ゴミ処
理場が完成した
後、ゴミ袋、分別収集
の方法などは新たに統
一されるのか。

答 新ゴミ処理場は
平成28年稼動予定
となつており、それま

でに調整が進められ
る。周知徹底を図るの
に1年はおかかると思わ
れる。

【産業観光課】

問 観光費の予算で
臨時の雇用が上が
っているが業務の内容
はどのようなものか。

答 町内に点在する
観光施設でのアン

ケート調査および資料
作成を依頼する。

【建設課】

問 補正予算で計上
された災害復旧事

業は年度内にすべて完
成できるのか。

答 決定額のうち農
林関係で85%、公
共土木施設で90%は完
成の予定。



台風12号で寸断された町道 休札小山上線災害現場(上口地内)

【訂正】美咲町議会会だより26号(平成二十三年十一月十日発
行)に次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫
びいたします。

七ページ六段目三行目
長原ダム(新城地内)→長原ダム(越尾地内)

まちづくりに生かします

議会行政視察

議会行政視察は、議員が他の自治体が行っている施策を直接把握することにより、議員個人の専門的な知識の向上はもとより議会全体のレベルアップを図り、行政の適切な運営を確保するために行うものです。



50年前にタイムスリップ（豊後高田市）

美咲町の検討課題であるまちづくりおよび教育力向上策についての視察・研修を行うため、平成23年10月25日～10月27日に大分県豊後高田市役所、九重町夢大吊橋、由布市観光総合事務所を訪問した。

まちづくり

昭和の町のまちづくり

（大分県豊後高田市）
豊後高田市の中心商店街は、人通りが少なく「犬や猫の方が多い」

と揶揄されていたが、「昭和の町のまちづくり」を進めた結果、今では年間30万人を超える観光客が訪れるようになり、商店街の活性化に大きな波及効果をもたらしている。

「昭和の町のまちづくり」は、550m程

の商店街の建物・看板・風景・商品などあらゆる物について、町が最も輝いていた昭和30年代の町並みに再現したもので、基本的な考え方は「温故知新」。この形は柵原地域の鉱山資料館と共通するものがある。

日本一の大吊り橋

（大分県九重町）

九重町は、日本の滝百選に選ばれている雄滝と雌滝、これに紅葉を組み合わせた景観を満喫させるための手段として谷を渡る「夢大吊り橋」を整備することとでこれまでに600万人を超える観光客が訪れている。

さらに広大な駐車場、建ち並ぶ土産物店を併設させる事により、入場料金の増収、商品販売による税収の増加、雇用の拡大など

その影響力は町の自主財源確保に大きく貢献している。

夢大吊り橋は、高さ173m・長さ390m・幅1.5mの歩道橋で、平成18年10月に完成した。事業費は20億円。国の地方再生事業債が活用されている。橋ができたきっかけは、たった一人のつぶやきから始まった。基本的な考え方は「奇抜なアイデア」。

この形は旭地域の三



600万人が渡った夢大吊り橋（九重町）

体公園と共通するものがある。

一大リゾート施設・湯布院温泉

（大分県由布市）

湯布院は昔から温泉地として有名だが、従来からの歓楽街中心の温泉地からリゾート中心の温泉地へと変化させることにより町全体を大きく変貌させた数少ない成功例である。

まず驚いたのは、J



女性客が殺到する湯布院の町

R九州が湯布院専用列車とも言えるリゾート特急「ゆふいんの森号」を走らせている事。

湯布院駅を出てしばらく歩くと、「見て」「遊んで」「買って」「食べて」「飲んで」を満喫できる店舗がずらりと建ち並ぶ。そして泊まりは湯布院温泉。実に理に適った取り組みである。ここに年間380万人の観光客が押し寄せ、その内の70%が女性とのこと。リピーターが多い最大の要因がここにある。

取り組みの起源は「今ある財産を最大限活かすための発想の転換」。この形は中央地域のJ R津山線、亀の甲商店街、棚田等に当てはめることが出来るかもしれない。

■滞留型観光政策への転換が必要

こうした成功例の実情を見てみると、滞在型・滞留型の観光政策が採られている事が分かる。これ

を基本にした様々なイベントが企画・実行されることでさらに波及効果を呼んでいる。

一方、本町は通過型の観光となっていくように思える。このため、土産物も売ることが出来ないしリピーターも少ない。「幸せの黄福物語」路線だけではインパクトが小さい。年間300万人とは言わないが、せめて30万人程度の滞留型集客を目指す工夫が必要であらう。

教育力の向上

学びの21世紀塾

(大分県豊後高田市) 豊後高田市には、古来室町時代に「戴星堂」たいせいどう、明治時代に「涵養舎」かんようしゃ



教育委員会で研修を受ける美咲町議会（豊後高田市）

という寺子屋が設立されるなど教育に力を注いできた歴史がある。こうした背景のもと

に教育のまちづくりの一環として、平成14年に「学びの21世紀塾」が開始された。

主な取り組みは、▽幼稚園・小学校・中学校を対象にした土曜日の補習授業▽英会話教室▽そろばん教室▽パソコン講座▽中学1年生対象の数学・英語講座▽中学3年生対象の

夏休み冬休み特別講座▽ケーブルテレビを利用したテレビ寺子屋▽料理・レクリエーション等の体験学習▽スポーツ少年団を中心とした放課後活動など多種多様。

「学びの21世紀塾」の活動は、開始後8年を経過する現在において確実に成果を上げており、同市の子どもの成績は県下でトップクラスの数値を示している。

学校では教職員の意識改革と指導力向上、家庭では学校地域支援本部の設立、地域では自発的なボランティア活動、行政では積極的な予算措置など。

こうした取り組みは、学校・家庭・地域・行政が一体となって始めて可能となるものである。

学校では教職員の意識改革と指導力向上、家庭では学校地域支援本部の設立、地域では自発的なボランティア活動、行政では積極的な予算措置など。

■組織の力を結集すれば不可能ではない

本町にもみさきテレビがある。各地域に公会堂がある。学校評議員もいる。教職員OBもいる。文化協会、体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブもある。これらの組織の力を結集することが出来れば、本町における子どもたちの教育力向上は決して不可能なことではない。

問

う

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

町長満足でなく
町民満足に徹せよ

今後も努力を続ける

答弁



草薙良明 議員

人委員会の設置▽協働のまちづくりの推進▽自主防災組織の強化▽資源ゴミ集団回収奨励金の新設▽留町奨励金の新設など。

問 町長は行政運営の指針として「人づくり」「地域づくり」「健康づくり」を唱えているが、就任以来どのような成果を上げているのか。

答 定本町長

人づくりでは▽幹部職員・一般職員研修会の増強▽消防団幹部への防災研修会開催▽幼児期からの英語教育の実践▽高齢者学級の開催▽生涯学習の充実など。
地域づくりでは▽50

健康づくりでは▽子宮頸がんなど各種予防接種への補助金▽不育治療への補助金▽セックスト検診の実施▽特定検診の無料化などの施策を実施してきた。

問 さまざまな施策展開が住民に十分理解されているのか。

答 定本町長

町長満足ではなく町民満足を得るべく周知を徹底させなければならぬ。
制度の詳細を住民に理解してもらい、

今後も住民の満足に向けて努力を続けていく。

中学生への
教育方針は

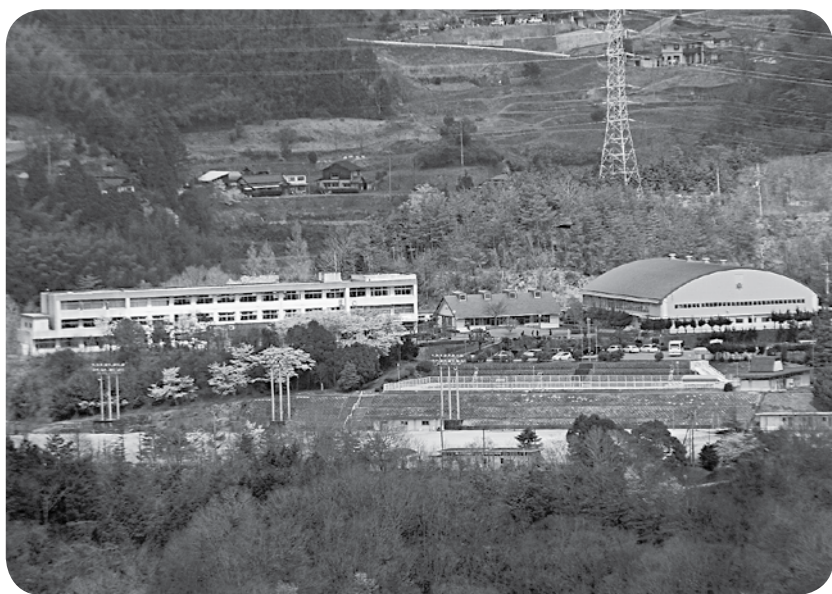
問

このほど中央中学校新校舎が完成した。一方柵原中学校は築後33年が経過して老朽個所が目立つ。計画的な改修が必要だが、将来において中学校の統合は考えているのか。

答 定本町長

柵原中学校の修繕については随時対応していく。

町内の中学校へは、ここ5年間は毎年100人を超える生徒が入学する統計となっている。統合はまったく考えていない。
大分県豊後高田市では、学校・家



校舎の老朽化が進む柵原中学校

庭・地域・行政が一体となった「学びの21世紀塾」を実行することで県下トップクラスの成績をおさめている。本町でも取り入れるべきではないか。

答 泉教育長

本町の教育基本計画に沿う形で、取り組むところは取り入れていけるように現場の教員とも相談しながら進めていきたい。

どうするIP電話

問

無料で通話できるIP電話が24年3月末で廃止されるが理由は何か。他に利用方法はないのか。

答 鈴木情報交通課長

IP電話は21年4月からサービスを開始したが、運営しているソフトバンク社がこの事業から撤退する。このため、やむなく廃止となった。残念ながら他の利用方法は見当たらない。

町政を

質問

一億円を超える

滞納への対策は

滞納整理機構などの

支援を得て努力する

答弁



下山和由 議員

問

平成22年度の決算報告が提示されたが、その内容は▽町税の滞納一億二千二百六十三万四千円▽不能欠損四百二十四万六千円▽使用料滞納九百十九万六千円▽諸収入の滞納七百七十八万四千円となっており、まじめな納税者にとっては想像を超える状況である。こうした滞納金の回収についての対策はあるのか。

答

鳥越税務課長
未納者に対して

問

現在の保育園は午後5時30分を過ぎると延長料金として二百円を加算されるシステムになっている。昨今の社会情勢から見ても時間内に迎えに行ける状況にはなっていないことから、保育園の終了時間を午後6時まで延長させることはできないか。

保育園の
預かりを6時までに
できないか

また、支払い方法の簡略化としてコンビニエンスストアでの支払いができるような方法を検討中である。

これ以外にも本年度からは岡山県滞納整理推進機構へ町県民税について徴収の引継ぎを始めた。

は、督促状の送付・電話催促・訪問などによって納付勧奨を行い、それでも納付いただけない場合は岡山市町村税整理組合に徴収を依頼している。

答

定本町長
保護者の働きやすい環境をつくること

が必要であり、来年度から実施する方向で考えている。職員の配置、要綱の変更などの準備も必要であり、今しばらく時間の猶予をいただきたい。

問

県道津山柵原線（塚角～大戸間）

柵原地域の
県道整備は
進んでいるか

の改修は地元の方々の悲願である。特にこの路線は緊急物資輸送道路としても重要性を持っている。県の考えは

答

定本町長

津山柵原線は、吉井川広域河川改修とあわせて計画を策定し、24年度には測量、設計を行う予定と聞いている。

問

美作岡山道の勝央湯郷間が24年3月に開通するが、柵原

答

定本町長

美作岡山道の吉井インター～湯郷インター間は現在環境アセスメントの計画書を作成中。今後、測量、設計、用地買収を経て平成27年度の事業化が予定されているようだ。



勝央湯郷の間は3月に開通するが…（美作岡山道）

質問

防災無線デジタル化への取り組みは

関係機関との

協議を進める

答弁



松田英二 議員

問

総務省は本年7月からテレビの地上デジタル放送を開始した。今後、消防・救急・防災などのあらゆる通信設備のデジタル化が国内全域に波及していくであろうことは明白である。本町の防災行政無線の現状はどうなっているか。

答

難波総務課長

本町の防災行政無線のうち同報系無線（固定された無線）は、デジタル化への対応は終えているが、通信形

問

態はアナログを継続している。移動系無線（消防自動車で使う無線）はデジタルへの対応はできていない。

答

難波総務課長

本町で使用する通信設備のデジタル化について内部で検討したことはあるのか。デジタル化への流れが加速する中において、部品・機器などの調達について専門業者から情報収集を行っている。

機器の更新に留まらず無線周波数の統一も含めた整備となれば相応な予算の確保が必要となる。

問

近い将来予測されるであろう通信設備のデジタル化について、関連する美咲町消防委員会、美咲町防災会議などで早急に協議を行う必要があるのではないか。

答

定本町長

津山圏域消防組合において実施される通信設備のデジタル化には、10億円近い予算が必要とされている。本町の設備改修にもそれに近い予算が必要と思われる。国の動向を見ながら委員会の中で話し合う必要がある。

携帯電話

不感地域解消の策は

問

情報化の最先端とも言える携帯電話は、最早生活基盤の一つに加えられる状況となっている。携帯電話事業会社により通信エリアの拡大が図られているものの使用でき



消防・防災活動に無線設備は欠かせない

答

鈴鹿情報交通課長

現時点においては、携帯電話不感地域の把握はできている。ない地域も実在する。町内の携帯電話不感地域の把握はできているか。

問

鏡野町は、携帯電話不感地域の解消を図るため国・県の情報通信基盤整備事業の補助金を受けて11基の移動通信用鉄塔を整備した。

答

定本町長

全体事業費の80%が補助金交付されるこの事業を使って本町の携帯電話不感地域解消策が実施できないか。でも使える所もある。通信エリアの中にも使えない所もある。まずは、町内の携帯電話不感地域の調査から実行していきたいと考えている。

質問

片鉄沿線協議会の 円滑な運営を望む

隣接する市との
連携を深める

答弁



角南憲一 議員

問

本町は、赤磐市、備前市などと共に片上鉄道沿線活性化対策協議会を組織してバス運行事業を行っているが、23年度から町独自のバス運行に変更した。

バスの運行について協議会から脱退した主因は何か。

答

定本町長

本年6月に実施した乗降調査では、周匝方面への乗車は15人、吉ヶ原方面への乗車は4人であった。乗

問

協議会への負担金は年間四百六十万円であったが、脱退に伴う代替バスは半年間で三百八十万円の予算が計上された。総務委員会では一定の条件を付して承認している。今後、宇野バス縮小との話もあり、隣接する沿線市町との円滑な行政運営を望む。

答

定本町長

美作市営バスの廃止など周辺状況変化に伴って単独運行を決定した。宇野バスへの対応については赤磐市長とも連携を取っており、美作市も含めて協議していく。

国際交流事業の 着実な前進を

問

本年度から着手したニュージラードとの友好都市縁組を着実に前進させるため、職員の相互訪問による情報収集を図っているかどうか。

答

定本町長

まず職員が先方を理解する必要がある。また、町民や議員も視察・交流ができる

ような措置を考えていく。

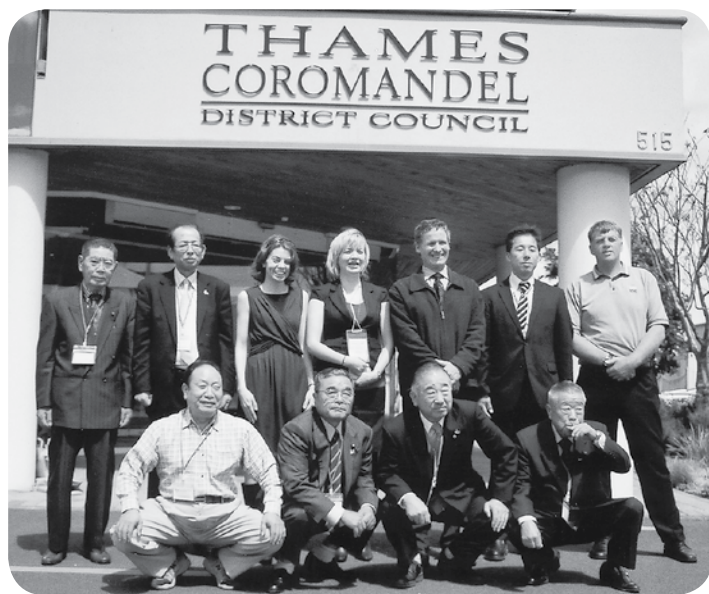
問

国際交流に富田基金を活用できないか。

答

定本町長

富田基金の趣旨、使用目的にも合致しており委員会で議論する。将来のある若者の可能性を十分発揮できる環境をつくること、が我々の努めと考えている。



笑顔で結ぶテムズ町との交流

国民健康保険は 広域化できるのか

問

国民健康保険の広域化は進展しているのか。

答

福田保健福祉課長

岡山県国民健康保険広域化支援連携会議が設置され、現在協議中である。

問

国民健康保険の22年度収支は八千四百万円の赤字であり、単純に国保税のアップだけで対応すると50%のアップになる。広域化が進展しない場合はどう対応するのか。

答

定本町長

現在、美咲町の税率は県内で一番低く設定している。今後は、特定検診などの予防医療に力を注ぎ、国保運営協議会で十分な審議を経た後、除々に国保税の税率を上げていかなければならない状況にある。

質問

町づくり専門の
担当課が必要

現在の制度で

しつかり対応する

答弁



岩野正則 議員

問

結婚推進担当者を設置することで成果を期待するが、現在の取り組みはどうなっているか。

答

矢木産業観光課長

本年度、全国結婚相談教育センターの仲人士と連携しながら、関西圏から女性を募集して3月10日～11日に地元の男性との交流会を実施する。これに向けたセミナーの開催を先日終えた。今後継続できる企画にしていく。

問

新たな雇用の場の創出を図るため農業での特産物の開発を目指すべきである。また、農地集積と管理の体制は万全か。

答

矢木産業観光課長

新規特産物について、JAつやま指導販売部、営農センター、農業普及指導センター、美咲町農業技術者連絡協議会などの組織において、本町の土に合うものを研究している。新規就農者に対しては、美咲町園芸作物新規栽培相談会を開催した。

農地集積、管理は美咲町農業公社、JAつやまの2団体で実施しており、農地所有者は



結婚しようよ♪

問

安心して任せられることができる体制になっているか。

答

矢木産業観光課長

地域資源の有効活用による6次産業化を考えている。国のサポートセンターを積極的に利用する。

具体的な取り組みはないが企業誘致条例の

問

見直しを行ったので、町のホームページを確認して欲しい。

答

定本町長

移住者、定住者への相談員となる集落支援員の設置が必要では。

地元以外の人が集落支援員をする場合、従来からのしきたりや地域の役員との位置づけ、報酬の支払い、取り組みなど問題も予

問

想される。協働のまちづくりでは、自分たちの集落は自分たちで守っていく機運が高まっている。このことを大事にしたい。

答

島根県隠岐の島の海士町の産業創

出課長はほとんど県外へ出張で島の産業の売り込みをしている。

吉備中央町は空き家調査に全職員が地元を回った。専属の担当者がさらなる空き家の募集、移住者に対しては親切、丁寧な生活をフォローしている。休日返上も多々あると聞いている。

今のままの兼務の縦割り体制でなく、専属でまちづくりを考える部署を設置できないか。

まちづくりに対する特効薬はないが、今ある制度を最大限利用してしつかり対応していく。

質問

協働のまちづくり

今後の具体策は

これまでの成果を

さらに広げる

答弁



松島 啓 議員

問

協働のまちづくりは合併以来、『自分たちの地域は、自分たちでつくる』の理念の基に行政と連携をとりながら、制度づくり・組織づくりを進めてきた。

21年度からは、旧村単位の自主活動組織の確立、交付金の一本化、22年度からは、新たに提案型まちづくり事業で地域の自主性を伸ばす取り組みも行ってきた。

① 21年度からの事業

成果と今後の課題は。

② 事業内容、交付金など3年ごとの見直しの時期になるが、24年度からの3年間の取り組みは。

③ リーダー養成講座、提案型まちづくり事業などの今後と、新たに取る事業は。

答

遠藤企画財政課長

① 21年度から始まった13の組織を対象にした協働のまちづくり事業は、全地区がイベントなどに取り組み成果があった。

課題は、自主防災組織の活動をさらに実施していただきたい。

② 事業が全地域に定着していないので、今後3年間は、事業内容、交付金は大きく変えずに行いたい。

③ リーダー養成講座は、県の補助で行っていたが、要望があれば検討したい。提案型まちづくり事業は、24年度以降も継続して行いたい。

たい。

新たな事業は、地域の特性を生かした取り組みを行いたい。

答

定本町長

③ まず、自主防

災組織を全地区につくっていたとき、そこに防災用品などを町が配付したい。

また、町からの交付金は、それぞれの地域



今年もやるぞ みさき町民大運動会

で極力自由に使えるよう今後も継続する。

みさきネットで

医療・福祉への

活用を

問

① 情報通信技術を活用して、地域の諸問題を解決する取り組みが、全国的に広がっている。本町のみさきネットを使って医

療、介護、高齢者福祉の分野で活用を考えていないか。

② 告知放送は、重要性の高いものから知らせるべきではないか。

お悔やみの放送は、悲しいことではあるが最初に行うべきでは。

また、テレビのデータ放送で、お悔やみ情報が流せないか。真庭市、美作市は行っているが。

答

鈴鹿情報交通課長

① 新しい分野での利用方法は、模索中である。医療、介護の分野での活用は、今後の課題解決に向けた、手段の一つと考える。

② 告知放送でのお悔やみのお知らせは、なるべく早い時間にできるように検討する。

テレビでのデータ放送でのお悔やみ情報は、休日が当直一人であり、絶対に間違いが許されないのに対応は難しい。

質問

土地の有効活用に 分譲宅地造成を

その方向性で

準備を進める

答弁



江原耕司 議員

問

緑花公園内の分譲宅地が好評のうち、に完売となった。その隣には当時保健センターを建設するとして造成した土地が空き地となつて残っている状況である。

土地の有効活用を考える上でもここを宅地にして販売するべきではないか。

答

遠藤企画財政課長 この土地は現時点において使用目的はないことから駐車場、資材置き場を利用して

いる。

分譲宅地として活用するかどうか今後検討していく。

答

定本町長 分譲宅地に活用するという方向性を持つて諸準備を進めていきたいと考えている。

過疎の歯止め 住宅建設費補助を

問

分譲地を購入して新しく住宅建設を行う人はさまざまな恩恵が受けられる。一方で、地域に残つて住宅建設をする人との間には格差が生じているように思われる。

過疎の歯止めを考え

答

定本町長 趣旨は十分理解できる。しかし、個人の資産に対して町が直接負担することはできない。



町有地の活用策 今後どう考えるか (うたのしも団地の北隣り)

本町では、町内全域において住宅を新築する場合には固定資産税5年間分の補助、県産材を使用すれば二十五万円の補助、留町奨励金3年間で十万元などの補助制度を設けている。これらの利点を十分活用してもらいたい。

答

定本町長 用地の確保ができるようであれば検討を進めていく。

問

中央総合運動公園 園野球場周辺には、試合当日になると数多くの車両が道路に駐車される。周辺住民から苦情もあり、警察からも注意を受けている。

近隣に駐車場の確保が必要と思うが対策はないか。

答

菅尾生涯学習課長 野球場は毎年30〜40試合利用されている。

少し離れた所に駐車場を借りているが徹底できていない。今後は駐車場の確保を考えなければならぬ状態にある。

中央総合運動公園 駐車場の増設が 必要では

質問

防災の諸課題に

対する対応策は

防災計画の見直しで

対応する

答弁



金谷高子 議員

問

東日本大震災の教訓を踏まえ既存の防災対策を見直す動きが活発に行われている。

①地域防災計画の見直しはできているのか。その際は女性の意見を取り入れる必要がある。

②自主防災組織は8月の段階において81地区中26地区で設立されている。100%に向けてどう指導するのか。

③高齢者や障がいのあるのか。

答

定本町長

①県の防災計画

る人など自力非難が難しい災害要援護者をどう支援するのか。
④防災士等の資格取得促進を行うことによりリーダーの育成を図るとあるが、防災士の資格を取得した人はいるのか。
⑤学校施設は避難所として重要な役割を担っているが、避難所として観点から整備はできているか。柵原中学校の2階屋上に古い倉庫があるが危険施設となっている。対応は。
⑥保育園、小学校、中学校においての防災教育の取り組みは。

答

泉教育長

④今のところ防災士の資格を持った人はいない。まずは、自主防災組織の確立を進め、その後資格取得を促進していく。

⑤避難場所として必要な機能を備えておく発想の転換が指摘されている。8校の学校の補修、改修と緊急を要するものがあるもので、財政状況を考えながら検討する。

倉庫の撤去はできる

策定に沿って美咲町防災計画を策定する。その際は、必ず女性の人も委員会に入ってもらう。

②町内の自主防災組織は現時点で32団体が設立されており順調に伸びている。補助金制度の活用などを広く呼びかけていく。

③地域の人と一体となって助け合える地域社会づくりを進めることが必要。

問

女性消防団員の人には大きな期待が寄せられているが、活動内容が理解されにくい。どのように活動していくのか。

美咲町消防団
女性部の役割は

⑥学校安全計画の1環として防災教育計画を立て、年間を通して実施している。

答

難波総務課長

現在部員15名。

地域防災力強化には不可欠であり女性消防団員の活躍に期待している。

活動内容は▽防火防災の啓発活動▽幼年消防クラブとの防火パレード▽保育園での防火防災教育▽防火だよりの発行などがある。



消防団女性部による防火教育の一場面（中央かめっこ保育園）

質問

すべての本会議を
放送できないか

設備上の問題は無く

可能である

答弁



山本宏治 議員

問

現在、議会定例会の本会議はみさきテレビ、告知放送で町内全域に放送されているが、臨時議会の本会議は放送されていない。住民に開かれた町政を目指すのであれば、臨時議会も含めたすべての議会本会議について放送できればより町民の理解をいただけると思うが、設備での問題があるのか。

答

鈴木情報交通課長
議会本会議放送時には2〜3人の職員

問

大震災がれきの処理要請はあつたのか

定本町長
議場における責任者は議長であり、議長が判断すればすべての会議を放送できる。

未曾有の大災害となった東日本大震災。国難とも言われる状況下で家屋の倒壊などによるがれきの処理に何年もかかると聞

問

赤堀上下水道環境課長
本年10月に環境省から災害廃棄物の受入れ検討状況調査が実施されたが、岡山県内すべての自治体および一部事務組合では、受け入れることはできないと回答している。

答

現在、東京都が処理に協力中であるが岡山県や周辺の圏域処理組合へ処理の要請はあったのか。

答

気持の上では災害廃棄物を受け入れて少しでも役に立てればという想いはあるが、費用などを考えると東北、関東で処理するのが現実的ではないかと思われる。

問

12月21日、旭総合支所の隣りに「みち停あさひ」がオープンする。運営にあたってはJAつやま、生産者組合などが主に事業を進めていくが、今後行政としてどのような支援を考えているのか。生産者組合に

みち停あさひ
運営に対する
支援策は

答

定本町長
中四国農政局からのアドバイスを受け、生産者組合の人と一緒に6次産業化に向けた特産品の開発に力を入れていきたいと考えている。

答

矢木産業観光課長
案内看板は今年度中には設置する予定で準備を進める。



いっぱいお客さんが来ますように（みち停あさひ）

質問

教育の基本方針は

町長が示すべき

教育委員会の

判断に委ねる

答弁



日神山定茂 議員

問 学力の低下もさ
さやかれ、校内暴
力も報道されたところ
である。

大分県豊後高田市で
は、市長が教育方針を
示し、教育委員会もタ
イアップして具体的
な展開を実施し大分県
で学力1位の結果をだ
している。児童・生徒
は充実した楽しい学校
生活を送っているよう
だ。
本町でも町長が方針
をはっきりと示し、教
育委員会が肉付けした
ものを町内に発信す

る。そして各学校なり
の取り組みをするとい
うのが分かりやすいの
ではないか。
別の講演会では、睡
眠を十分に取る、朝食
を食べる、テレビを見
るのを1時間程度にす
るといっただけで学力は
向上するということだ
った。
こういった簡単なこ
とから取り組んでみて
はどうか。
答 定本町長
教育方針のことは
教育委員会が行うと
定められている。そこ
へ町長がものを言うの
はいかなものか。
早寝、早起き、朝ご
はんなどは基本中の基
本であり、各学校で取

り組むべきことと考
える。

答 泉教育長
本町の教育に関

してその全体像、目
指すべき方向性を示す
ことは大切なことだ。具
体的な町の方針を各学
校に示し考え方を伝え
ている。

問 大阪では教員の
能力について議論
が行われた。

本町の雰囲気合い
子どもたちの教育に効
果のある教員人事に期
待する。

答 泉教育長
教職員へは教育

力向上への研修を実
践している。人事につ
いても本町に合う教職
員の獲得を目指す。

問 平成23年12月
に久米郡体育協会が
なくなった。社会体育
指導委員の活動に
積極的な支援を。

答 泉教育長
体育協会、文化
協会などの活動には
心両面で応援してい
きたい。



この町の教育が目指すべき方向性は…

問 国道429号線
改良工事の早期完
成は町民の願いであ
る。町長を先頭に機運
を高めて早期の完成を
願う。
答 定本町長
本線の用地買収
は完了しており、来
年度から橋梁工事を進
めるなど県も前向きに
取り組んでいる。早期
の完成を目指してい
く。

町営バスには
柔軟な対応を

問 打穴中・打穴下
地区は民間バスと
共同で運行している
ため無料の町営バス
に町民が乗ることが
できない。何とか
ならないか。

答 鈴鹿情報交通課長
新たに設置した
公共交通のあり方
検討会議の中で協
議を進めていく。

国道429号線
の早期完成を

質問

どう取り組む

新年度財政方針

財政健全化に向け

改善を図る

答弁



貝阿彌幸善 議員

問

本町の実質公債費比率が県内ワースト1となっている。新年度の財政健全化に向けた取り組みの方針は。

は。

答

遠藤企画財政課長

新年度の財政取り組み方針は、必要性、緊急性を考慮し一層の厳選と徹底した歳出の見直し、経費削減を行う。

国の動向、情報を的確に把握し選択と集中の徹底で取り組む考えである。

問

年間の補助金が五億五千万円程度、借地料金が千三百万円程度支払われている。補助金、借地などの対応は。

答

遠藤企画財政課長

補助金対応は▽事業の効果▽対象経費の明確化▽補助額の適正化などに重点を置き、国・県の補助制度

が終わり次第、町の補助も打ち切る。町単独の補助金は3年以内を終期と設定している。

借地対応は、地権者と協議し、必要な土地は買い取り、不必要な土地は返却する方向で進める。

答

定本町長

財政健全化に向けて改善を図る。実質公債費比率は22年度単年度では17・9%。将来負担比率も130程度になると想定しており、借金を少なくしておく必要がある。

公民館、コミュニティ

イなどへの補助金は指定管理者制度を導入するか、地元への無償払い下げを個々に判断する。

借地は、町有地にしなくてはならない土地とそうでない土地を個々に方向付けしていく。

職員の

体制強化策は

問

職員の体制強化で職員間の意識改革と指導方針、原発問題を含む危機管理体制の方針は。

答

中西柵原総合支所長

条例・規則を守るとともに、多少柔軟性を持った対応を職員に指

導している。

答

杉山旭総合支所長

人づくり、健康づくり、地域づくりなど相手の立場に立った考え方と柔軟性を持った窓口対応の指導をしている。

答

難波総務課長

効率的な行政運営、行政改革の観点から職員のやる気、積極的なチャレンジ精神を高める。

人事評価目標管理体制の導入、危機管理体制



全職員が新たな気持ちで体制を強化

答

定本町長

危機管理は大切なことであり、原発について県も防災計画に組み入れている。本町も責任を持って取り組みたい。

質問

木質ストーブの
普及で林業活性化を新エネルギーの
具体化で検討する

答弁



岡田 壽 議員

問

国の予算削減で本町の新エネルギービジョンの具体化が先送りになった。メガソーラーの誘致も厳しい。そのような中で、70%が森林の本町でできるエネルギーの取り組みが必要である。

山林の現状は、切り捨て間伐などの残材が大量に見られ、自然林も荒れ放題の状況である。これらの山林資源の活用で林業活性化を図るため木質ストーブの推進を図るべきでは

ないか。

答

赤堀上下水道環境課長

22年度に策定した美咲町新エネルギービジョンを基に、24年度に事業化委員会具体化する。その中で木質ストーブの導入も協議する。

答

矢木産業観光課長

森林施業も24年度から搬出間伐に重点を置く国の方針である。搬出経費の問題は残るが、新エネルギービジョンの中で木質バイオマスの計画を検討する。

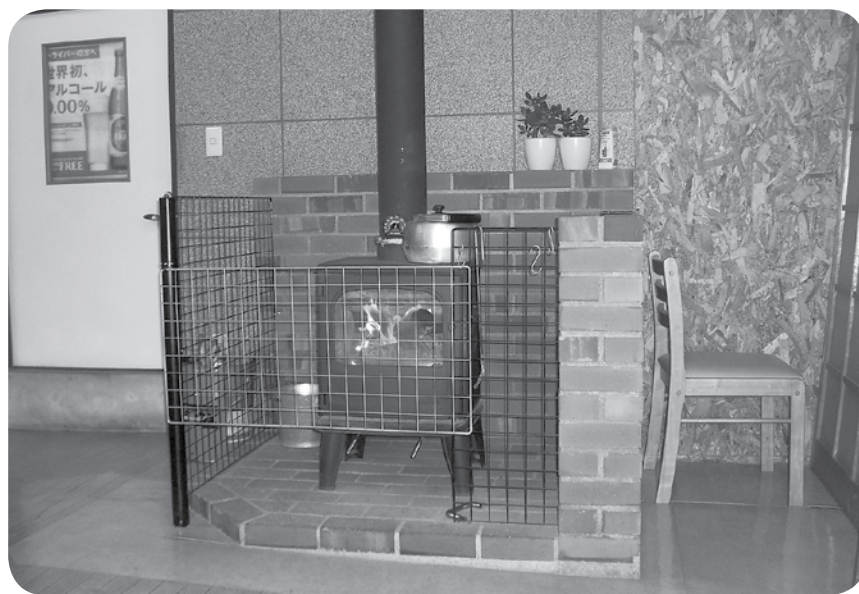
答

定本町長

木材を搬出し付加価値を付けるため森林組合に機械化の補助

もしている。問題は採算性であるがビジョンの中で議論していく。

- ① 制度の内容と周知は
- ② 登録の状況は
- ③ 地域組織への情報提



山林資源の活用策をどう考えていくか（薪ストーブ）

災害弱者

支援制度の

詳細を問う

問

災害時要援護者登録制度の内容及地域組織のあり方は。

答

福田保健福祉課長

①この登録制度は災害時に安全な場所

供と地域の支援のあり方は

④登録していない人への対応は

へ避難するのに支援を要する人（高齢者、障がいのある人、妊産婦、乳幼児など）を対象に登録し、平常時から見守り、災害時に関係団体、関係機関で支援するもの。

内容については、広報で全戸配布し、対象者には民生委員が訪問して周知に努めている。

②中央地域26人、旭地域24人、柵原地域38人の合計88人が登録。申請受け付け中である。

③23年度中に台帳を作成し、民生委員、地域自治会、社会福祉協議会、包括支援センターなどに伝達する予定。この情報を地域で共有し、地域での支え合いの推進や防災力の向上を目指す。

④未登録の人にも地域で声をかけ、見守りが必要であり地域活動に参加するなどの環境づくりを地域組織に期待している。

質問

政策の目的に沿った
対応が必要

町条例に従った

判断をするべき

答弁



小島洋征 議員

問

うたのしも団地
40区画が販売開始
から2年でほぼ完売し
た。しかし、40戸の新
しい集落が誕生したに
も関わらず集会所がい
まだ建設されていな
い。この団地に関して
は行政の責任において
集会所を建設すべきも
のと考ええる。

この団地造成の大き
な目的は、少子化、高
齢化が進む地域社会に
あって若い人たちに数
多く住んでいただき地
域の活性化を図ってい
る。

答

定本町長

その目的と立地条件
から考えて、当然集会
所は建設すべきもので
ある。ところが、住民
の皆さんに聞くと防犯
灯の設置においてすら
住民負担を強いている
ようだ。これらのこと
について町長はどう考
えているのか。

答

うたのしも団地
に集会所を整備する
という約束はしていな
かったものと理解して
いる。

問

集会所の用地は確保
しているが、施設建設
については本町の条例
に従ってもらわなけれ
ばならない。
美咲町集会所等建設
整備事業補助金交付要
綱によれば、上限を一
千万円として事業費の
2/3までを補助する
とあり、戸数の多少に
よって集会所を行政が
建設するとすれば行政
責任を問われることに
なる。要綱に従うこと
が公正・公平な行政で
ある。

問

考え方に相違が
ある。

確かに集会所を建て
る約束はしていない
が、この事業には集落
再編整備事業という形
で国庫補助金が投入さ
れている。補助金の趣
旨に加えて起債部分に
は過疎債が充てられて
いる。

そして、全区画が販
売されたことにより、
事業の収支決算では二

答

定本町長

千七百万円程度の剰余
金がでている。このお
金は集会所建設に充て
るべき性格のものでは
ないか。

答

予算的にはそれ

でほぼ間違いないが、
分譲地購入補助金とし
て三千万円程度を必要
としており、全体とし
ては若干の赤字である。

本町には多くの住宅
団地が有り、公平・公



若者定住策をさらに充実せよ（うたのしも団地）

答

三船議長

この件について
は、改めて議会全員協
議会で討議する。

問

政策としての事
業と土地購入補助
金とは別問題である。

政策に対する考え方

に大きな開きがあるの
で、全員協議会での協
議を議長に申し出る。

答

三船議長

この件について

は、改めて議会全員協
議会で討議する。

質問

スクールバスには 十分な安全管理を

安全面には

細心の注意を払う

答弁



梁山朝子 議員

問

本年9月に発生した柵原地域におけるスクールバスの事故に際して、町民皆様からさまざまな指摘を受ける中、教育委員会としてはどのように反省し、今後どのように対応していくのか。十分な安全管理体制を構築していくのか。

答

泉教育長

9月6日に発生したスクールバス柵原大戸線の事故については、児童、園児、保護者の皆様そして町民皆

様に大変ご心配をおかけしたことに心よりお詫び申し上げます。

事故後の対応として、まず全員を学校医により診察し、家庭訪問を行い、保護者の皆様に状況、対応についての文書を配布している。また、示談の相談に各家庭を訪問した際にも保護者の皆様からさまざまな意見をいただきながら安全対策に細心の注意を持って取り組みんでいるところである。

来年度以降の運行については、安全面を最優先にした運行計画を基に入札を実施し、2月をめどに運行業者の正式決定を行う予定。

延長保育は

午後6時からに

問

お母さんたちの働きやすい環境をつくるためにも保育園の延長保育を6時からに変更できないか。

答

定本町長

来年度から保育園の終了時間を午後6時に変更する方向で作業を進める。

私学助成拡充の

意見要請を

問

県知事に対して私学助成拡充の要請ができないか。

答

泉教育長

岡山県町村教育長会議などで提案の趣旨を説明し、他町村の意向も勘案しながら対応していきたい。

指定管理者制度

の根拠は

問

集会施設の指定管理者制度について統一の必要が指摘されているが、その根拠は何か。

答

定本町長

地域によって対応が違う状況があり、公平さを保つためにこれを統一する方向で検討する。

関連企業の

誘致に努力を

問

本町には日本に唯一と言われる技術を誇る企業がある。産業振興のため、関連企業の誘致を働きかける努力が必要である。

答

定本町長

美作岡山道が開通すると交通の利便など条件的にも整備される。積極的な誘致活動を継続していく。



毎日のお迎えごろうさま

議会を傍聴して

12月定例会の一般質問（12月13日）の傍聴に来られた皆さんに、感想をお聞きました。
議会活動の活性化にもつながりますので、ぜひ議会傍聴においで下さい。

❀ どうも和気あいあいのようなどちらも仲間内での議会だと感じました。

前もって議員からの質問事項を受けた上での答弁のはずだが、どうも内容が軽く感じた。

「みさきチャンネル」での議会放映は何度となく見ているが、内容次第ではもっと強烈なやり取りを期待する。

❀

答 馴れ合いにならず、常に緊張感を持った議会運営を心がけていきます。

六十代 男性

❀ 議員は立派な議題を出されていますが、もっと住民の声が議題とされていればよいと思いました。

また、支所における職員の接し方ですが、職員同士が見る接し方と住民が訪れて接する感じは違い

があると思いました。皆さんと一緒に指導いただきながら、知識を高めながら年齢を重ねていきたい



議会の傍聴に来られた50人委員会（まちづくり検討部会）の皆さん

❀ 傍聴者が来ているからかとても礼儀正しく、テレビでは時々ですがよく感じられなかったですが、今

と思います。

❀

答 七十代 女性
住民の声が届く議会を目指します。

日はよかったですと思います。毎回議会が終わったら報告してくださっておられる方にお礼申し上げます。

今日初めて聞きにきて色々大変だと感じました。美咲町のためご苦労なさっていることがよくわかりました。大変ありがとうございました。ごさいました。

❀

答 七十代 女性
期待に応えられる議会となるようご指導ください。

❀

一般質問の質問事項についてあらかじめ広報するようにしたらどうか。町民の議会への関心を高揚させるためにも告知放送・インターネット等を通じて町民に知らせることはできないか。

❀

答 五十代 男性
告知放送、みさきテレビのデータ放送の活用などを検討したいと思います。

❀

答 職員・議員の対応態度もよい。小さいペットボトル（お茶）、

紙コップで、職員・議員に出してもよいのではないか。（傍聴のほうにはいらない。町長の声が小さいのか、通りにくいのか、聞き取れない。）

❀

答 六十代 女性
議場で声がよく聞き取れるような工夫を考案していきます。

❀

初めての傍聴で知らないこともたくさんあり、改めて認識しました。町のことに関心も深め勉強したいと思います。みさきネットのテレビも見erように心掛けたいと思います。町の様子も改めてよくわかりました。またの機会も傍聴したいです。

❀

答 六十代 女性
皆さんの関心を引き寄せる魅力ある議会にしていきたいです。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

久米老人ホーム組合

(静香園)

(津山市、久米南、美咲町)

10月14日に定例会を開催し、副議長に村田氏(津山市)を選出した。22年度会計決算認定、23年度一般会計補正予算千百十六万円、特別会計補正予算三十万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)

10月20日に定例会を開催し、議長に中島氏(津山市)、副議長に藤田氏(鏡野町)を選出した。22年度会計決算認定、23年度一般会計補正予算二千二百九十九万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎24年度～29年度までの第3期包括複数年運転管理業務を入札

により委託するため、限度額十三億七千三百万円の債務負担行為を設定した。

津山圏域

西部衛生施設組合

(津山市、鏡野、美咲町)

10月20日に定例会を開催し、議長に原氏(鏡野町)、副議長に日神山氏(美咲町)を選出した。22年度会計決算認定、23年度一般会計補正予算千八百七十九万円、監査委員の選任(北本氏・津山市)など3議案を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西栗倉村、勝央、奈義、美咲町)

10月21日に定例会を開催し、議長に尾高氏(美作市)、副議長に日笠氏(勝央町)を選出した。22年度会計決算認定、23年度一般会計補正予算二百二十五万

円を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護

老人ホーム組合

(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)

10月24日に定例会を開催し、22年度会計決算認定、23年度一般会計補正予算三千九百六十八万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井英田

火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

10月24日に定例会を開催し、22年度会計決算認定、監査委員の条例改正、23年度一般会計補正予算三百八十八万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

資源循環施設組合

(津山市、鏡野町、

奈義町、勝央町、美咲町)

11月18日に定例会を開催し、22年度会計決算認定、23年度一般会計補正予算など2議案を審議、賛成多数で可決した。

報告事項

◎23年度～47年度までの津山圏域クリーンセンター施設建設・運営の実施に要する経費を債務負担行為により設定した。

津山広域事務組合

(津山市、鏡野町、奈義町、勝央町、久米南町、美咲町)

11月24日に定例会を開催し、22年度会計決算認定など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山農業

共済事務組合

(津山市、鏡野町、久米南町、美咲町) 11月24日に定例会を

開催し、22年度会計決算認定、条例改正専決処分2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野町、奈義町、勝央町、久米南町、美咲町)

11月24日に定例会を開催し、22年度会計決算認定、23年度組合会計補正予算三千九百八十万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

中部環境施設組合

(真庭市、美咲町)

12月26日に定例会を開催し、22年度会計決算認定、職員給与条例改正、23年度組合会計補正予算千三十二万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第13回
もっと広がれ花の輪、人の和！

ふよう
三保地区芙蓉の会



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループと連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

平成13年から活動を開始して今年で12年目を迎えます。

どんな活動をしていますか

打穴川に沿って通る町道の脇に芙蓉の花を植えて、毎月1回草刈などの手入れを行うと共に打穴川の清掃を実施しています。

メンバー構成は

打穴下地区と錦織地区に住む30歳代から70歳代までの仲間11人で楽しみながら仲良く頑張っています。

活動を始めたきっかけは

道路が舗装されたことをきっかけに、地域を活性化するための方策を考えて始めたものです。

楽しいことは何ですか

芙蓉の花が見事に咲き揃うことはもちろんですが、なにより地域の皆さんが散歩道として、子どもたちが通学路として花を楽しみながら利用してもらえるのが一番の楽しみです。

これからの活動は

打穴川の周辺にホテルが飛び交い、芙蓉の花が咲き誇り、川のせせらぎが聞こえる。そんな地域の憩いの場として活用できるようにしていきたいと考えています。

議会に一言

自慢できる故郷にするために、美咲町全体で「花いっぱい運動」が展開できる環境を作れないでしょうか。

美しく咲いた「芙蓉の花」で町に笑顔の花を咲かせてください

編集後記

美咲町では、今年から成人式が1月の成人の日に行われました。良き想い出となりますように願うものです。私自身も約半世紀前の成人式当日に想いを巡らせます。これから的人生で「辛い」ことに遭遇しても、一つ頑張れば「辛い」となり

昨年「絆」という言葉がクローズアップされました。人と人との結びつきの中に思いやりの心が生まれる「絆」と思いやりを深く再認識した年でした。本年もこの絆の心で地域づくり、協働のまちづくりを皆さんと共に頑張ります。(草薙記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

金谷 高子

岩野 正則

草薙 良明

松島 啓